

パレスチナ難民の若者から見たガザ地区の今 —日本・UNRWA 70周年—

国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）は、パレスチナ難民に保健、教育、社会サービス、保護、難民キャンプのインフラ整備と環境改善等を提供する国連機関です。本シンポジウムでは、パレスチナ難民の若者が見たガザ地区の今を語ってもらい、UNRWAの支援状況と合わせて、この地域が抱える現状や問題について議論します。また日本とUNRWAのパートナーシップ70周年を記念し、日本の支援についても紹介します。

■冒頭挨拶/パネリスト



植木 安弘教授

上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科、
国際協力人材育成センター所長
元国連本部事務局広報官

参加無料・要事前申し込み

パネリストとしてガザの
UNRWA学校中学生3名参加

■パネリスト



清田 明宏氏（医師）

国連パレスチナ難民救済事業機関
（UNRWA）保健局長

■モデレーター



キニマンス塚本ニキ氏

翻訳家・ラジオパーソナリティ



2023年10月7日(土) 17:30-19:00 (JST)



来場参加申込

会場：上智大学四谷キャンパス
1702国際会議場
定員：120名



オンライン申込

*ご登録いただいたメールアドレス宛に
アクセス用URL・パスワードをイベント前
に送付いたします。

言語：日本語・英語（同時通訳あり）*

- 対象：学生、一般 / 参加無料・要事前申込
- 主催：上智大学
- 共催：国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）、上智大学国際協力人材育成センター（SHRIC）
- お問合せ：hrc-ic-co@sophia.ac.jp (SHRIC)

*通訳音声はZoom視聴時に限り利用できます。通信に係る機器、費用はすべて参加者のご負担となります。
会場でスマートフォン等からZoom音声を聞く場合は必ずイヤフォンを持参してください。